



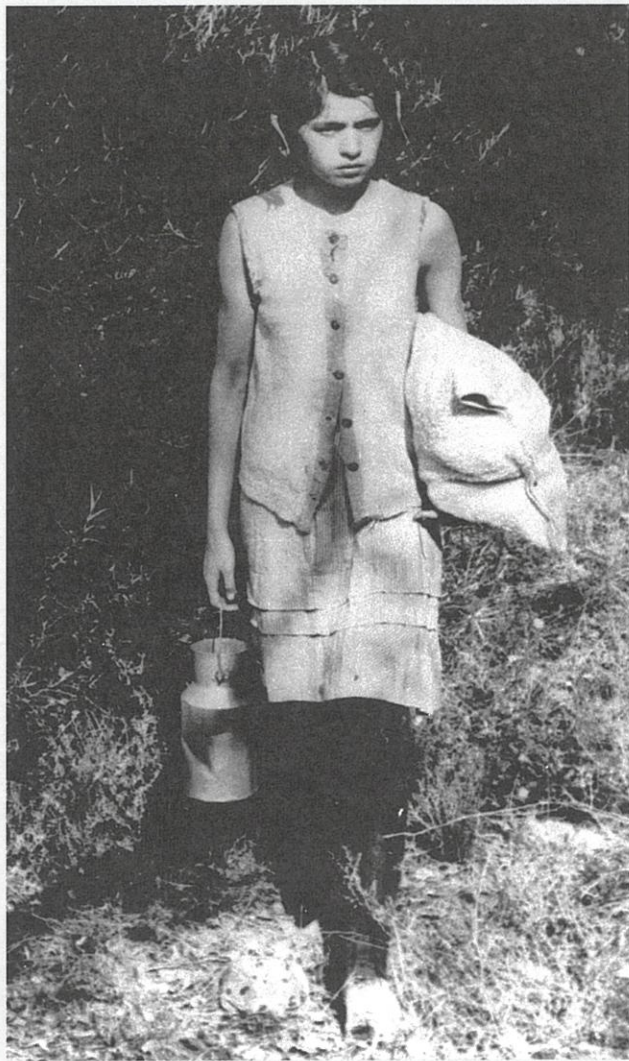
ロベール・ブレッソン監督作品

少女ムシエット

MOUCHETTE

Réalisation : Robert Bresson Scénario : Robert Bresson D'après « Nouvelle histoire de Mouchette » de Georges Bernanos Image : Ghislain Cloquet Caméra : Jean Chiabaut Musique : Jean Wiener et Monteverdi
Distribution : Nadine Nortier Jean-Claude Guilbert Paul Hébert Maria Cardinal Jean Vimenet Marie Susini Suzanne Huguenin Marine Trichet Raymonde Chabrun
© 1967 Argos Films - Parc Film Restoration and digitalization with the support of the CNC





孤独で、惨めで、あまりに哀れな少女の受難劇。
多くの映画監督たちを魅了した、
ブレッソンの問題作にして伝説の一作。

ロベール・ブレッソンが傑作『バルタザールどこへ行く』の直後に手がけた本作は、またも一人の少女の悲運な運命をまざまざと描きだす。原作はカトリックの作家ジョルジュ・ベルナノスの小説。ブレッソンは、これ以上ない厳格なフレーミングと、俳優たちの演技を最小限に抑制することにより、原作にあった冷酷さを忠実に映像化。常に孤独な魂を映し続けてきたブレッソン映画のなかでもとりわけ苛烈な問題作が誕生した。強情で忍耐強い少女ムシエットを演じたのは、この映画のために抜擢されたナディース・ノルティエ。彼女の悲惨さが極まるそのラストシーンは、ベルイマン、タルコフスキー、ジャームッシュら多くの映画監督をも魅了し、映画史に残る名場面として今も語り継がれる。

ものがたり

重病に苦しむ母と、酒に溺れ暴力を振るう父。自分が面倒を見るしかない赤ん坊を抱え、14歳のムシエットは、貧しい生活のなか、ひたすら孤独な日々を過ごしていた。家でも学校でも居場所のないムシエットは、森の中に逃げ込むが、突然の嵐で道に迷ってしまう。やがて森をうろつく密猟者のアルセースと遭遇したムシエットは、その夜、彼に強姦される。翌朝帰宅した少女は、母親の死去という悲劇に見舞われる。いつものように牛乳をもらいに出かけたムシエットは、ただ一人、村はずれの池に向かう…。

限定 4K 上映 少女ムシエット MOUCHETTE

監督・脚本 | ロベール・ブレッソン 原作 | ジョルジュ・ベルナノス「新ムシエット物語」 撮影 | ギラン・クロケ 美術 | ビエール・ギュフロワ 音楽 | クラウディオ・モンテヴェルディ、ジャン・ヴィーネル
編集 | レーモン・ラミー 製作代表 | アナトール・ドーマン 4K リマスターカラーグレーディング | クリスティアン・ボスケ
出演 | ナディース・ノルティエ ジャン・クロード・ギルベール マリー・カルディナル ポール・エペール ジャン・ヴィムネ マリー・ジュジーニ
1967年 | フランス | 80分 | モノクロ | スタンダード 配給 | コピアポア・フィルム + lesfugitives © 1967 Argos Films - Parc Film

1967年カンヌ国際映画祭 パルム・ドールノミネート、国際カトリック映画事務局賞
1967年ヴェネチア国際映画祭 イタリア批評家賞 1967年フランス映画批評家協会賞 ジョルジュ・メリエス賞受賞



1月 23日[土]・24日[日]

1/23 (土)	13:00- 少女ムシエット 14:40- バルタザールどこへ行く	1/24 (日)	13:00- バルタザールどこへ行く
-------------	--------------------------------------	-------------	--------------------

鑑賞料金
▶1,500円均一

*1/23 (土) 14:40の回上映後、三宅唱 (映画監督)+五十嵐耕平 (映画監督)+松井宏 (映画プロデューサー) によるトークショー

映画批評家・廣瀬純 本編上映並行分析『少女ムシエット』 1/24 (日) 15:10より
※鑑賞を目的とした上映ではありません。 参加費：1,000円均一

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
TEL 03-3280-0099 (代表)